



いぬはりこ

ある幼稚園の今昔 —— (福井県) ——

松村伊佐武

ある日、私は谷口小ぎくさんにおあいして、私の県では古い歴史を持つている尾上幼稚園の生い立ちについての話を聞く機会を得た。谷口小ぎくさんは尾上幼稚園創立初代の保母さんでことし七十才になるが、そんな年とは思えぬくらい元気の話好きだ。

「幼稚園の先生をした者は、いつまでも気が若くてね。」
 といながら、アルバムを出して来て、四十年前に写したという古ぼけた写真(幼稚園修了記念の)を見せて、ぼつぼつ思い出話をしていただいた。

尾上幼稚園ができたのは、大正天皇御即位の御大典記念事業と作られたのが、そもそものはじまりでして、あれは大正四年の六月だつたと思います。
 そのころの幼稚園といえば、ホームスさんが経営していた

栄冠幼稚園、それに順化小学校附属の順化幼稚園、その二つしかありませんでした。

尾上とほとんど同時に、常葉幼稚園(東別院系)もできました。私たちの園は西別院の土蔵を改造した建物で、まことに粗末きわるものでした。初代園長は河村倭先生、保母さんは私のほかに齋藤政江さん、この二人でした。河村先生は一年半ほどされて病気になるれておやめになり、そのあと(註1)へ宇野名左エ門先生がこられたのです。宇野先生は大正六年から終戦のちよつと前まで二十六年間、ずつと園長さんをおつとめになつて尾上幼稚園の名をたかめてくださった大恩人です。

宇野先生は巖谷小波先生のお弟子だつただけにお話の上手な方で、子どもたちはいつも喜んで聞きましたね。先生は幼稚園教育に熱心な方で、福井市保育会長、県の幼稚園協会会長

もなさつて、福井県の幼稚園教育をたかめるのにうんと力を
つくされましたね。今生きておいでになつたら、どんなにか
喜ばれるでしょうに。

〔註一〕 宇野名左エ門先生のこと

明治十九年生、通称敬一、俳名者翠福井県武生中学を経て早

稲田大学英语科卒業

福井市北陸中学校、仁愛女学校教員

尾上幼稚園長（自大正六年至昭和十七年）

福井市保育会長、福井幼稚園協会長、福井県児童愛護連盟本

部長

福井県童話協会長（昭、四）

全日有保育連盟幹事（昭、一三）

著書——お伽花束、子供の国、お伽小箱、ここに王国等

昭和二十七年九月病没

そのころ保育のし方といえは、唱歌、遊戯、手技、遊び事
など、積木もあつたし、恩物もつかいましたね。特別な保育
用品はフレール館からとりましたが、なるべくお金がかか
らないように自然物を利用しましたね、たとえば葉っぱのよ
うな。

それから今とかわつていゝのは、箸輪並べ、ぬいとり。箸
輪並べというのは、箸や輪を机の上に並べているんな形を作
らせるんですがね。それに——豆細工、むぎわら細工——こ
んなもの今はあんまりはやらぬようですな。

図画は今のようになかんにやなかつたね、クレヨンのように

な便利なものがなかつたからでしょうか、石盤に石筆をつか
つて何でも書かせていたように思います。今の子どもたちは
そういう点でしあわせだと思いますよ。

お天気のいい日はできるだけ外につれ出して自然に親しん
で園外保育をやりました。

第一回の修了児は九十人ほどでしたが、この中に今尾上
の主任保母をしている武鑑ぶかん秀子さんが、そうそうこの写真の
一ばん前列に紋付を着てはかまをはいているこのかわいい女
の子が武鑑さんですよ。そのころはみんな着物の上にエプロ
ンをつけていましたね。

何しろ子どもの数が多かつたので、しつけにはすいぶん苦
勞しましたね。今の教育のし方とちがつて、子どもを型には
めなきやならぬと思つて、時にはとがり声の出たこともあり
ましたよ。

子どもの無邪気で純真なことは、むかしも今もかわりにはあ
りませんね。強いていへば今の子どもはむかしにくらべてい
くぶんませてはいませんか、そんな気がしますが。それには
しかい子どもさんも多いようですな。

尾上幼稚園のマークのこと、今も尾上の子どもさんのエプ
ロンについているあのはりこの犬はすいぶんむかしからつづ
いていますね。あれは宇野先生の保育精神である桃太郎主義
のシンボルですよ。

桃太郎についていつたイヌ、サル、キジはもともと仲がわるいのですが、それが仲よく力を合わせてはたらいたところに目をつけられたんですね。またイヌ、サル、キジは智、仁、勇にもたとえられています。この智仁勇の三つの徳をそなえた子どもをつくりたいという先生の願いがこめられているんですね。

毎年の卒業式には、智、仁、勇の三色別にしたキビタンゴを作つて、折り箱に入れて子どもたちの卒業祝いに出示してね、そして宇野先生がおもしろい童話の一つずつなさつて一つずつ食べさせなさつたあのたのしい様子が今もはつきり目に浮かんできますね。

〔註〕 宇野先生の児童保育精神は自己の天性を土台として、智仁勇を兼ね備える桃太郎主義を幼な心に吹き込み、そして将来我が国家に役立つ健康で立派な第二国民を養成せんとするのであります。他目には小さな仕事のようにありますが、実際は大きな仕事であります。先生の児童保育には何等の収入が伴わざるのみか、却つて少からぬ犠牲を払つて居られます。是れ先生が子供の世界における唯一の存在として断然光彩をはなつ所以であります。

—— 昭、八福井県「自治と教育」より ——

宇野先生がこうした保育精神に燃えて充実された尾上幼稚園も、昭和二十年の福井戦災によつて灰燼となり、戦後再興したのも束の間、昭和二十三年六月の福井大震災で再び崩壊したが、別院をはじめ関係の方々の熱意によつて現在の園舎

が復興した。また去年はグラントピアノも備えられ、形式内容ともに充実し、宇野先生当時の尾上幼稚園の輝かしい光彩や伝統が復活している。現在の園長は竜島祐信氏、先生は武鑑さんを含めて八名、園児は三百名を超えている。谷口小ぎくさんの保育された武鑑秀子さんは、この幼稚園に二十数年勤続され、現在なお若い人々に劣らない教育的情熱をかたむけていつも子どもたちとたのしい園生活を送つておられる。これはこの園にとつては勿論のこと、わが県幼稚園界にとつても大きな幸いであり強みでもある。

×

なおついでに福井県幼稚園教育界の現状を附け加えたい。現在わが県の幼稚園は、公立五十三園、私立十七園、計七十園を数えており、年を追うてその施設が増加しつつあることは、幼な児のために大いに喜ばしいことである。

しかもそれぞれの園には、尾上の武鑑さんのように幼な子の成長と幸福を守るために生涯を捧げるような良心的な教師が、孜孜としてはたらいておられることをよく知つている。

このように、わが県の幼稚園教育界は輝やかしい将来を孕んで、堅実な前進を続けていることを申し上げて筆をおく。

福井大学学芸部附属小学校教諭

誤 本誌第五十三巻第四号（四月号）中十三頁最後天津幼稚園長とあるのは、宮澤幼稚園長の誤りです。お詫びいたします。